

教育プログラム・コースの概要

大学名等	神戸大学大学院医学研究科						
教育プログラム・コース名	がんゲノム医療インテンシブコース						
対象職種・分野	近畿圏その他でがん診療に携わっている医師						
修業年限(期間)	1年						
養成すべき人材像	固形がんの薬物療法においてがんゲノムパネル検査に基づいて腫瘍の遺伝子変異の意義を理解し個別化治療を実施でき、各全体でがんゲノム医療を推進・コーディネートに主導的役割を果たせる人材を養成する。						
修了要件・履修方法	がんの基礎から臨床までをカバーする腫瘍学Ⅰ 基盤講義(医療現場・学際領域)・腫瘍学Ⅱ 横断講義(予防・研究開発)の受講に加えて、がんゲノムパネル検査に関する録画・オンデマンド講義を受講し、エキスパートパネルにおいて実習を行う。						
履修科目等	腫瘍学Ⅰ 基盤講義(医療現場・学際領域)(希望者、R5年度は共通特論Ⅰ) 腫瘍学Ⅱ 横断講義(予防・研究開発)(希望者、R5年度は共通特論Ⅱ) がんゲノム医療拠点病院である神戸大学医学部附属病院で開催するエキスパートパネルの準備およびパネルでの実習(2時間 x 12)						
がんに関する専門資格との連携	がん薬物療法専門医(日本臨床腫瘍学会)・血液専門医(日本血液学会)の研修施設として認定。						
教育内容の特色等 (新規性・独創性等)	通常の博士課程、修士課程とは別に近畿圏等でがん診療に携わっている医師を対象に、腫瘍学Ⅰ 基盤講義(医療現場・学際領域)・腫瘍学Ⅱ 横断講義(予防・研究開発)の受講によりすべてのがんの基礎から臨床までを教育する。さらに、がんゲノム医療の基本及び概略を学習するための講義を新たに録画し、がんゲノムパネル検査について。実際のがんゲノム外来、がんゲノムパネル検査の準備・出検、結果を議論するエキスパートパネルおよびその準備を経験する。特定の臓器のがんばかりでなくあらゆる固形がんの、実際のがんゲノム外来、がんゲノムパネル検査、エキスパートパネルを体験することにより幅広く理解を深めることが可能となる。近い将来に造血器腫瘍に対するパネル検査が実装されるが、体制が整った後に同様の教育機会を拡大する。修了者には、がん専門医師研修(インテンシブ)コース修了証を授与する。						
指導体制	・がんゲノム医療を習得した複数のがん薬物療法専門医ががんゲノム耐雷、がんゲノムパネル検査、エキスパートパネルを実施しており、詳細な教育が可能である。 ・外来、検査、エキスパートパネルでの臨床実習の前に、がんゲノム医療に関する資料を利用することにより教育効果を高める。						
修了者の進路 キャリアパス	兵庫県を中心に各地域におけるがんゲノムパネル検査に基づく個別化医療の普及・均てん化、質の向上が期待される。						
受入開始時期	令和6年4月						
受入目標人数	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
	0	2	2	2	2	2	10
受入(養成)目標人数 設定の考え方・根拠	兵庫県内のがん診療連携協議会において準拠点病院以上に指定されている病院は46病院が、そのうちがんゲノム医療拠点病院が3病院、連携病院が5病院ある。これにがんゲノム医療に精通した医師が複数名配置できれば、兵庫県下の他の病院はこれらの病院と連携することにより、がんゲノム医療が可能となると思われる。毎年度2人を輩出できればがんゲノム医療の普及が期待できる。また教育の質を落とさないためにも毎年2名が妥当と考え、受入れ目標人数を合計10人と設定。						